

2023年10月12日

各位

会社名 いちご株式会社
代表者 代表執行役会長 スコット キャロン
(コード番号 2337 東証プライム)
問合せ先 上席執行役財務本部長 坂松 孝紀
(電話番号 03-3502-4818)
www.ichigo.gr.jp

本店移転および新オフィスプロジェクト「FUNADE」のお知らせ

当社は、本日の取締役会において、本店の移転について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本店の移転に際し、心築を軸としたサステナブルインフラ企業として不動産を扱うプロフェッショナルの視点から、社会環境や働き方の変化を捉え、新しいオフィスのかたちを提案するため、本社移転に向けた「FUNADEプロジェクト」を立ち上げ、働きがいのあるオフィス空間を創造します。

記

1. 移転先

東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 20階



2. 移転時期（予定）

2024年1月5日（営業開始日）

3. 移転の理由

当社が本店を置く帝国ホテルタワーがエリア一体開発を予定しているため、本店の移転を決定いたしました。

4. 新オフィスの概要

当社は、グループ役職員の有志 50 名超から構成される、本社移転に向けた「FUNADE プロジェクト」を立ち上げました。FUNADE プロジェクトは、本社移転による新しい航海に向けた取り組みであり、役職員一人ひとりが働きがいのあるオフィスを自分たちで創っていくことを前提とした全社一丸となったプロジェクトです。

新オフィスのコンセプト制定から、パートナーの選定、全体構成等を役職員の投票により決定し、コンセプトをもとにテーマを設定のうえ、以下の 6 つのチームを構成し、詳細をまとめてまいりました。

- ① ICHIGO TOWN を彩ろう
- ② イベント盛り上げ隊長
- ③ Neighbor プライオリティチーム
- ④ ICHIGO TOWN 見守り隊 & WEB ミーティングプランナーズ
- ⑤ 最適なコネクティビティを目指す！
- ⑥ 働き方イノベーターズ

■ 「いちご新オフィス」コンセプト

「Growth Accelerate Office」(成長を加速させるオフィス)

(1) Flexible Operation

自由度の高い、変化に対応できるオフィスの仕組み
運用ルールのキーワード：Hospitality

(2) Borderless Communication

組織の壁も働き方の壁も超えたコミュニケーションを可能に

(3) Evolving Workstyle

学習・成長をサポートする仕組み、業務効率向上、場所を問わない働き方、働き方に合わせた空間オプション

■ 「いちご新オフィス」の GOAL

いちご新オフィスでは、役職員一人ひとりの「自立」と「自律」を前提とした、新しいオフィス環境と働き方を提案します。

目的：高い「生産性」と柔軟な「働き方」によって、個と組織の成長を促し、
「独創的な思考と実行」「インパクトある仕事づくり」を実現するオフィスの創造

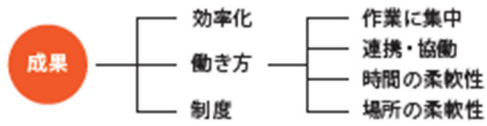
課題：生産性 & 創造性 (=成果) の向上

- 1) コミュニケーションの活性化と触発される環境づくり
- 2) 作業に集中できる環境の充実
- 3) 自己を高める機会と環境の充実

「FUNADE」では、目的に照らし、課題を解決するにあたり、以下の視点から新しいオフィス構成を検討いたしました。

視点

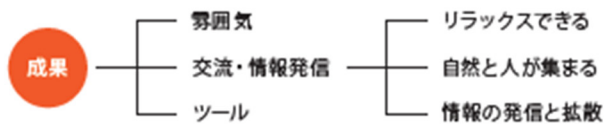
Make New Operation



Keywords

Access (社内外の情報)
Flexibility (時間・場所・仕組み)
Synergy (協働・協力)
Well-Being (健康・安心)

Make New Communication



Keywords

Gathering (集まる)
Casual (気軽、緊張感のない)
Sharing (情報を共有する)
Connect (つながる)

Make New Workstyle



Keywords

Learning (学ぶ・考える・能力向上)
Inspiring (刺激・モチベーション)
Networking (接する・人脈・発想をつなげる)
Caring (思いやり・ホスピタリティ)

■ 「いちご新オフィス」デザインコンセプト

いちご新オフィスでは、フロア全体をいちごグループが集まる街「ICHIGO TOWN」と想定し、役職員が出かけ、動き、出会い、感じることで「Growth Accelerate Office」(成長を加速させるオフィス)の実現を目指します。

ICHIGO TOWNは、役職員同士のコミュニケーションや柔軟な働き方をサポートする「ICHIGO PARK」、グループ各社の執務室として仕事に集中できる空間を意識した「HOME」、社内会議室として使用する「SHOP」、お客様と役職員のコミュニケーションの場となる「CAFE」から構成されています。

■ 「いちご新オフィス」のデザインイメージ

ICHIGO PARK

眺めの良い窓側や各社執務室からアクセスしやすい場所に、仲間との様々なコミュニケーションや気分転換、柔軟な働き方等をサポートする「ICHIGO PARK」ゾーンを設置。デザインはアースカラーを使用し、木製の家具や芝生をイメージしたグリーンを設置する等、公園のような色合いをイメージ。



眺望の良い窓側は、ハイチェアやパントリー、待ち合わせ場所となるようなサインを設置し、役職員がカジュアルにコミュニケーションをとることができるエリアとしています。



HOME (執務室) からアクセスの良い場所では、外に出て気分転換や休憩をしながら働くことができ、打ち合わせがしやすいファミレスタイプの席や一人で集中できるブースを設置する等、柔軟な働き方をサポート。

HOME (執務室)



各社執務室は、「家」をイメージし、街並みに溶け込むデザインの間仕切りを設置。また、機能性の高い什器を選定し、集中できる空間を構成しました。

SHOP（社内会議室）



社内会議室は公園や街中にあるSHOPをイメージ。ネーミングも「Bakery」等のお店の名前を予定しています。

CONFERENCE ROOM



CONFERENCE ROOMには4面マルチモニターを設置し、大勢でのミーティングに適した空間となっています。

ENTRANCE

エントランスは明るいイメージで、所々にいちごカラーを採用しました。壁面はアップサイクル建材というリサイクル素材を使用しています。受付システムの導入やモニターに当社の事業紹介を投影する等、お客様にとって心地の良い空間を演出しています。



CAFE（コミュニケーションエリア）

CAFE では社内外の打合せやプロジェクトの打ち上げ、社内大学「いちご大学」の開催を想定し、サイネージを設置する等、社内外のコミュニケーションをサポートする空間となっています。CAFE の一部からは皇居を一望することができ、間仕切りを使用することで、分割して利用することも可能です。



■ テーマ別の取り組み

「ICHIGO TOWN を彩ろう」

役職員一人ひとりが快適かつ機能的に利用できる ICHIGO TOWN を目指し、ICHIGO PARK のプラン、デザイン、家具の仕様やレイアウト等を検討。コミュニケーションの場としての ICHIGO PARK は、従来の均一的なオフィスではなく、「お気に入りの場所」を見つけられ、互いに声をかけやすい環境を目指しています。

「イベント盛り上げ隊長」

移転に向けた社内の機運を高めるとともに、一体感を醸成していくことを目的として、個人ロッカーやキャビネットの整理キャンペーンや、移転の記念になるようなイベントや新しいオフィスを飾るアートの作成等を企画・実施しています。

「Neighbor プライオリティチーム」

役職員のコミュニケーション活発化や、オフィススペースの効率化と快適性の向上に向けた環境整備に取り組んでいます。具体的には、雑誌や書籍を整理するためのキャンペーンやオフィスをきれいに使うことを意識づけするための清掃イベント、パントリーやカフェの有効活用検討等を行っています。

「ICHIGO TOWN 見守り隊 & WEB ミーティングプランナーズ」

役職員が安心して業務ができる安全なオフィス環境の構築のため、セキュリティを重視した監視カメラや入退室システムの調査と選定を行っています。また、快適な WEB 会議環境を目指し、最新の機器や新たな運用を検討しています。

「最適なコネクティビティを目指す！」

新しい働き方を前提として、社内外問わず、システムを活用することで円滑なコミュニケーションが取れるよう、現場のニーズをヒアリングしながら検証を重ね、電話関連システムや受付システムの導入、運用を検討しています。

「働き方イノベーターズ」

働く時間や場所の柔軟化など、いちごの未来を見据えた働き方をディスカッションしています。また、移転先の丸の内パークビルディングの共用ラウンジのトライアル利用を実施し、アンケート結果をもとに、新しい働き方に向けた提案を検討しています。

5. 業績に与える影響

本件による影響は、2024年2月期の連結業績予想に織り込んでおります。

6. その他

移転先は同一区内のため、定款上の本店所在地に変更はありません。

以上